

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	育児教室等の充実						掲載ページ		
							66		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		26261	千円	28117	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 乳幼児の子育てや基本的な生活習慣等に関する知識の普及を図るため、土日開催や託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	母子の健康確保のため、乳幼児の保護者を対象とした育児教室を各区で開催します。子どもを持つ親同士の交流や育児に必要な知識を提供します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	育児教室開催数		671 回	継続的な開催	601 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	より多くの乳幼児の保護者に対して、基本的な生活習慣や事故予防など、育児に必要な知識の普及を図ります。 （最終目標と最終年度）						
	育児教室参加者数		12,485 人	増加	10,010 人	順調 やや遅れ 遅れ	順調
より多くの乳幼児の保護者に対して、基本的な生活習慣や事故予防等、育児に必要な知識の提供を図ります。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	基本的な生活習慣を育成するためには、乳幼児期は大切な時期であることから、乳幼児を持つ保護者に対して、知識の普及を図ることは重要です。また、子どもを持つ保護者同士が交流し情報を交換することで、育児に関する不安の軽減が図られています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係機関と連携し、参加しやすい教室内容を工夫することで、より効果的な情報提供を行うことが必要です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
基本的な生活習慣を育成するためには、乳幼児期は大切な時期であり、乳幼児を持つ保護者に対して、知識の普及を図ることは重要です。また、子どもを持つ保護者同士が交流し情報を交換することで、育児に関する不安の軽減が図られています。今後も乳幼児の保護者の実態を反映した育児教室を実施していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	食を通じた乳幼児等の健康づくり						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,231,724	千円	1,400	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	妊産婦や乳幼児の食事に関する悩みや不安を解消するために、ニーズに応じた母子栄養教室内容の充実や、参加しやすい教室を開催し、栄養指導・啓発を行う。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	25回と回数は減りましたが、対象者のニーズやコスト面を考慮した実施会場の設定や運営の委託化を行う予定です。また、リーフレットの配布を行い、より多くの市民に啓発していきます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	教室開催回数		28 回	25 回	25 回 100.0 %	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	食について学ぶ機会があった保護者のほうが、野菜の摂取量やバランスの取れた食生活が実践できているという調査結果から、市民がより参加しやすい形に見直した教室の開催回数を活動指数として掲げました。 （最終目標と最終年度）30回 26年度					大変順調	
（最終目標と最終年度）						順調 やや遅れ 遅れ 順調	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	25回と教室開催回数は減ったが、対象者のニーズやコスト面を考慮した実施会場の設定や運営の委託化を行った。また、幼稚園、保育所等へのリーフレットの配布を行い、より多くの市民に啓発できました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	教室を休日に開催したことにより、職員の休日の人件費を押さえるため、教室の運営委託を行い、人件費を抑えました。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
よりニーズを考慮した教室内容、および啓発方法を検討していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	歯と口の健康づくりモデル事業～親子むし歯ゼロ大作戦～						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		5,027	千円	5,000	千円	施策名	母子保健	担当課	健康推進課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	1歳6か月児の歯科健診と一緒に母親等への歯科健診を行い、母親等の口腔内状態の改善や、むし歯予防に親子で取り組む意欲を高めることで、3歳児のむし歯ゼロを目指します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	母親等の口腔内状態の改善や、むし歯予防に親子で取り組む意欲を高めるために、1歳6か月児の歯科健診と一緒に母親等への歯科健診を行うとともに、その効果を検証します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	むし歯のない3歳児の割合		68.5 %	-	%	69.7 %	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調
	本市及び国の健康日本21の歯科保健における重点目標である「むし歯のない3歳児の割合を80%以上」を目指します。 （最終目標と最終年度）80%以上（平成24年度）						
モデル事業の評価		実施	-	%	実施	順調 やや遅れ 遅れ	
3年間のモデル事業の効果を検証し評価します。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	親子歯科健診を受診した者の方が受診していない者よりう蝕発生率の減少などが見られ、事業実施の有効性は高いと考えます。しかしながら、むし歯を持っている幼児の割合は目標値よりも高いため、さらにむし歯予防の推進が必要です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業はすでに民間（歯科保健に関する専門職団体に）委託して実施しており、効率的な運営を行っていると考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
モデル事業として実施した結果、親子歯科健診については、有効性が確認されたので、平成24年度より本実施を行い、むし歯の予防対策を推進していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	親子ですすめる食育教室						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,031	千円	1,291	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	乳幼児期からの正しい食事の仕方や望ましい食習慣の定着のために、幼稚園や保育所等において、入所児童の保護者を対象に乳幼児期の食育について、栄養士の講話や調理実演などを行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	毎年40回実施予定であり、より多くの市民に啓発していきます。							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	「親子ですすめる食育教室」の開催回数		40 回	40 回	40 回/毎年		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	幼稚園、保育所等において教室を開催することにより、より多くの市民に啓発できるため開催回数を活動指標としました。 （最終目標と最終年度）毎年40回開催 平成26年度				100.0 %			
						順調		順調
（最終目標と最終年度）					やや遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	年長児のほとんどが幼稚園、または保育所に通っており、保護者にも最も参加しやすい場所での教室の開催は食育の推進を啓発するのに有効です。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	従事者にボランティアを加えており、コストの面では抑えられています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後とも、幼稚園、保育所等において教室を実施し、望ましい食習慣の定着のために食育を推進します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	「食育推進ネットワーク」の構築						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることのできる環境づくり	担当局	保健福祉局
		53	千円	73	千円	施策名	母子保健	担当課	健康推進課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	食育関係団体（者）とのネットワークを構築し、食育に関する情報の共有化を図るとともに、相互の連携・協力による食育を推進します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	<p>「北九州市食育推進ネットワーク」登録会員を対象に、情報交換会を定期的（年6回程度）に開催し、食育関係者・関係団体等の相互の情報交換・交流を行い、それぞれの団体等の自主的な活動や関係団体相互の連携・協力による食育活動を推進します。また、「食育キャンペーン」を実施し、行政だけでなく官民連携・協力のもと、本市における食育の一層の推進を図ります。</p>							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	食育に関心を持っている人の割合		87 （平成19年度） %	-	-	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	食育に携わる団体・個人のネットワークづくりが進み、より効果的な活動が行われることで、食育の認知度が上がり、食育に関心を持った市民が増加することが期待できることから、活動指標として掲げました。（なお、目標値は本市食育推進計画策定時の現状値（87%）から1割以上の増加。） （最終目標と最終年度）96%以上（平成25年度）							
「北九州市食育推進計画」に基づく食育の推進		情報交換会を6回開催	情報交換会を6回開催	情報交換会を5回開催	順調	やや遅れ	順調	
本市における食育を総合的かつ計画的に推進していくことを目的に策定した「北九州市食育推進計画」に基づき、食育を効果的に推進していくため「食育推進ネットワーク情報交換会」を開催するとともに、食育に関する普及・啓発を行います。 （最終目標と最終年度）					遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	活動は概ね予定通り実施することができました。食育キャンペーン（集中取組期間：10月・11月）では、食育の様々な課題の中から、テーマを「食の選択力（を養う）」と設定し、取組みの方向性を統一することで、各種団体と連携・協力した活動を実施することができました。今後も情報交換会を通じて、会員相互の関係づくりを図り、より効果的な活動につなげていきたいと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	機会あるごとに事務の簡略化や内容の取捨選択などを行い、より効率的な事務運営となるよう努めています。また、食育に取り組む団体等とのより一層の協力・連携に努め、市民の自主的・自発的な食育活動を促していきます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>「北九州市食育推進計画」の目標達成に向け、「食育キャンペーン」（平成24年度テーマ：共食）の実施を始め、関係団体等と協力・連携した活動の充実に努めます。</p> <p>また、「北九州市食育推進ネットワーク」登録会員の増加を目指すとともに、情報交換会を始めとした交流・情報交換の場の提供により団体間の情報共有化や関係づくりを支援し、相互連携・協力による活動の活性化を目指します。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	保育所を通じた地域への食育推進事業						掲載ページ
							67
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		— 千円	— 千円	施策名	母子保健	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所において、食事に関する不安を解消するために、入所児童の保護者に加え、地域の子育て家庭を対象として食育に関する相談や講演会等を充実します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	各保育所(園)に実施保育所(園)の取り組みの事例発表や各保育所(園)における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、少しずつではあるが今まで実施していなかった施設の新たな取り組みを促します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	地域の子育て家庭に対し食に関する支援を実施している保育所(園)の割合						
	支援を実施している保育所(園)の割合の増加が、支援の充実と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）70%（平成26年度）	62 %	64 %	67 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	（最終目標と最終年度）			104.7 %	大変順調		
					順調		
					やや遅れ	順調	
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所(園)の取り組みを未実施保育所(園)に紹介することにより、少しずつではありますが実施保育所(園)が増加しています。講演会や食に関する情報提供は、入所児童の保護者ととも、地域の子育て家庭を対象とするので、より効果が高く、地域の保護者は身近な保育所で情報が得られることから、地域の食育推進として有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所(園)の行事として予算範囲内で行い、効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
各保育所において、地域の子育て家庭へ給食のレシピ・食育だよりの配布や食に関する情報提供、食生活相談会、講演会等の支援を積極的に行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	保育所入所児童への食育推進事業						掲載ページ		
							67		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		—	千円	—	千円	施策名	母子保健	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 保育所入所児童の食に関する興味や関心を高めるため、子どもたちに栽培活動や調理などを体験させ、また、給食を生きた食材として活用した食育指導の充実を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	実施保育所(園)の取り組みの事例発表や各保育所(園)における実施の有無のアンケート結果を周知することにより、100%の施設で実施しており、継続していきます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	入所児童に対する食育を実施している保育所(園)の割合						
	食育指導を実施している保育所(園)の割合の増加が、指導の充実と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 100%（平成26年）		100 %	100 %	100 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調
	（最終目標と最終年度）				100.0 %		順調 やや遅れ 遅れ

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所(園)の取り組みを周知することにより、100%の施設で実施しています。入所児童への食育指導の取り組みにより、子どもが食べることを喜ぶ様子は家庭での食育の関心を高めることになり、子育て支援が一層充実しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	保育所(園)保育の一環として取り組むので、予算範囲内で工夫し、より効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
各保育所において、栽培体験、調理体験等子どもが生活と遊びの中で、食にかかわる体験を積み重ねることを積極的に取り組んでいきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	保育所給食を通じた家庭への食育の普及啓発						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		—	千円	—	千円	施策名	母子保健	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所入所児童の保護者に、食育について関心を持ってもらうため、給食の保護者試食会や、献立表・食育だよりの配布などを通して、家庭への食育の啓発を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	実施保育所(園)の事例発表や各保育所(園)対象の実施の有無のアンケート結果を周知することにより、100%の施設で継続実施していきます。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	入所児童の保護者に対し、食育の啓発を実施している保育所(園)の割合		100 %	100 %	100 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保護者への啓発を実施している保育所(園)の割合の増加が、家庭への食育の啓発推進と比例していると考えられるため、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度) 100% (平成26年度)						順調	
					やや遅れ			
(最終目標と最終年度)				遅れ				

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施保育所(園)の事例等を周知することにより、100%の施設で継続実施をしています。また、入所児童の保護者への食育の啓発により、子育て支援のみならず、家庭の養育力の向上、保育所との連携が一層強化されています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各保育所(園)が予算範囲内で工夫し、より効果的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
給食試食会の開催や献立表・レシピ等の配布は、家庭での食育の実践が広がり、食を通じた子どもへの理解にもつながります。今後とも各保育所において、家庭への食育の啓発を積極的に行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	歯科保健事業						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		53,810	千円	64,608	千円	施策名	母子保健	担当課	健康推進課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	歯と口の健康は市民の健康寿命を延ばすことに役立つだけでなく、美味しい食事や家族や仲間との会話を楽しむ等による市民の生きる力をはぐくみ、生活の質の向上を図るための重要な要素です。生涯を通じた歯と口の健康づくりの一環として、乳幼児期のむし歯予防により歯と口の健康づくりの推進を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	1歳6か月児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査、4・5歳児歯科検診を実施します。また、1歳6か月児へのフッ化物の塗布を実施します。また、市民センター等でライフステージに応じた歯科保健指導を開催します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	1歳6か月児・3歳児歯科健康診査を受診した者の割合		59.8 %	増加	60.8 %		大変順調	
	乳幼児期における歯や口腔の異常や歯科疾患のリスクを早期発見し、適切な指導を行うために1歳6か月児・3歳児を対象に歯科健康診査を実施します。 （最終目標と最終年度）							
（最終目標と最終年度）						順調 やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	歯と口の発育時期である幼児期の適切な時期に歯科健康診査を行うことは、むし歯の予防の早期発見・早期対応をはじめとした歯と口の健康づくりに効果的です。また、健康診査の結果に基づき、歯みがき方法やおやつとの与え方等に関する日常生活に必要な歯科保健に関する保健指導を行うことで歯や口の発育するスタート時期からの歯科保健対策を進めることになり、有効性は高いと考えます。併せて、歯が生えてきた早期から乳歯にフッ化物塗布を行うことが効果的です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業はすでに民間（歯科保健に関する専門職団体）に委託して実施しており、効率的な運営を行っていると考えます。歯科保健指導や歯科保健についての普及啓発活動については、経済的、効率的に実施するように努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
本事業は施策に対する有効性も高く、歯と口の健康づくりを行っていくうえで重要な事業であると考えています。今後も目標の達成に向けて着実に取り組みを進めていくことが適切であり、引き続き事業を行います。さらに、受診率の向上を目指し、受診者の拡大を図るためのPRにも努めていきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	市民センターを拠点とした健康づくり事業						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		10,811	千円	15,191	千円	施策名	母子保健	担当課	健康推進課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	市民が主体となり話し合い、目標の設定・計画づくり・実践・事業評価を一つのサイクルとして、まちづくり協議会、健康づくり推進員の会、食生活改善推進員協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、保健師等の連携により健康づくりに取り組む「市民センターを拠点とした健康づくり事業（通称：地域でGO！GO！健康づくり）」により住民主体の健康づくりを推進します。			活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動計画	「地域でGO！GO！健康づくり」の全市的な展開を推進し、地域担当保健師等による支援及び補助金の交付による支援を行います。				
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	「地域でGO！GO！健康づくり」の実施まちづくり協議会数	85 団体	増加	97 団体	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	市民が自ら話し合い、地域の健康づくりに取り組んでいく「地域でGO！GO！健康づくり」を拡充することで、市民主体の健康づくりを推進します。 （最終目標と最終年度）				大変順調
（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保健師等の働きかけにより「地域でGO！GO！健康づくり」をさらに12校区で展開できました。また、各区で開催した各地域の活動報告会等が事業のPRにもなり、事業の拡充に効果がありました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	「地域でGO！GO！健康づくり」は、市民自らが地域の状況にあった健康づくりの取り組みを考えるものであり、運営費の一部に補助金を交付し、効果的な活動を推進しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の支援方法等の検討（支援方法や評価指標の検討） ・各区で報告会や交流会を開催し、取組み校区が活動報告や情報収集する機会を提供する。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	小児肥満対策事業						掲載ページ		
							H23新規		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		536	千円	953	千円	施策名	母子保健	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	肥満傾向のある児童を適正体重に近づけることにより、将来の生活習慣病罹患のリスクを減少させるために保育所、幼稚園の職員および保護者に対し、小児肥満の知識、予防の啓発を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	市内全保育所、幼稚園対象に身長体重バランス値調査の実施や職員に対する講習会の開催、また保護者に対してリーフレットの配布などを行い、小児肥満に対する認識を周知します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	身長体重バランス値の実態調査を実施した保育所、幼稚園の割合		-	-	96 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	実態調査を実施した保育所、幼稚園の割合の増加は、施設職員が小児肥満予防の意識を持つことにつながるため、活動指標としてあげました。 (最終目標と最終年度)増加 26年度							
	身長体重バランス値が20%を超える幼児数(4-5歳児)の減少		-	-	2.2 %	順調	順調	
身長体重バランス値が20%を超える幼児の減少はそのまま、小児肥満予防啓発の成果につながるため、活動指標としてあげました。 (最終目標と最終年度)減少 26年度					やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市内全保育所、幼稚園対象に身長体重バランス値調査の実施や職員に対する講習会の開催、また保護者に対してリーフレットの配布などを行い、小児肥満に対する認識が周知できました。 4～5歳児のほとんどが通う保育所、幼稚園の職員や保護者を対象に講習会を実施することにより、小児肥満への知識、予防の啓発、ひいては小児肥満児の減少につながります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	講演会の開催方法や小児肥満予防リーフレットの配布対象を検討していきます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
身長体重バランス値の実態調査の継続や講演会の内容を検討し、施設職員、保護者に小児肥満の知識、予防の啓発を推進していきます。